

今号の主な内容

【特集】ふれあい学習事業

ゆふいん子どもガイド養成講座・見聞録	1
ゆふいんtopic	3
ゆふいん三世代物語	
ゆふいん元気!	4
広島東洋カープ 少年野球教室 in YUFU 市民実践活動への助成・顕彰事業を再開しました!	
ゆふいん財団掲示板	4

[発行日] 2010年11月22日

[発行] 公益財団法人人材育成ゆふいん財団

[発行人] 溝口薫平

[編集責任者] 霜野圭一

[編集] 人材育成ゆふいん財団企画委員会

住所/湯布院町川上2863

TEL/85-4748 FAX/85-4759

E-mail: info@yufuin-zaidan.jp

H.P : http://www.yufuin-zaidan.jp

【特集】平成22年度 ふれあい学習事業

ゆふいん子どもガイド養成講座・見聞録

ふれあい学習事業の「ゆふいん子どもガイド養成講座」も今年で2年目に突入。今年はゆふいんの田んぼに着目したプログラムです。湯布院は暮らしの身近な範囲に田んぼや川、山など、豊かな自然の恵みがあります。平成22年度は「身近にある田んぼを紹介しましょう!」という企画で講座がスタートしました。

日頃、通学やお散歩で田んぼを目にしている、じっくり観察して、見つけたことを考える機会は、子ども達にとってなかなかありません。子どもたちが知りたいことを出発点に、実際にお米づくりをしている田んぼのお兄さんを

招きながら、現場のお話を聞き、自分が興味を持った田んぼのことをまとめて、最後に紹介していきます。

田んぼのガイド役になることだけが目的の講座ではありません。地域をしっかりと見つめ、身近にある田んぼを観察し、それを自分の企画としてまとめる。そして上手に説明するための講座です。創意工夫や自己表現力を高める講座として増々充実してきました。その成果の一部をご紹介します。詳しくは財団ホームページにて公開しております。ぜひ、ご覧下さい。

カチッ! 🔍 検索 ゆふいん財団



田んぼのあぜ道を歩き、いろいろ見つけました。

午前中は、昨年度実施した子どもガイド養成講座をスライドや映像で振り返りました。その後、頭と体をやわらかくするための体操やゲーム、クイズをみんなで楽しく行うことで、仲良くなり、お互いにコミュニケーションを図っていきます。

午後はひたすら田んぼを眺めながら歩きます。途中であぜ道にも入り、稲の花を見たり、水路をのぞいたりします。みんな歩いている途中で、いろいろなものを見つけました。

第1回ゆふいん子どもガイド養成講座/8月24日

- 1 受講生同士がお互いのコミュニケーションを深めるための「他己紹介ゲーム」からはじまります。ペアの相手の話をしっかり聞いて、みんなに紹介します。
- 2 毎回恒例のプレゼンゲーム、一体感ゲームで集まったメンバーが仲良くなっていきます。
- 3 田んぼのあぜ道をみんなで歩き進みます。
- 4 途中で、ヘビの抜けガラを発見。これを持っているとお金持ちになる! みんなの歓声がわきおこりました。
- 5 新しくなった沈み橋で記念撮影。今日はみんなで驚きや疑問など、たくさんのお話を発見しました。



第2回目では田んぼのお兄さん(太田慎太郎さん(岳本))をお招きして、田んぼについての詳しいお話をいただきました。前回みんなで見つけたことや日頃感じていることなどを応用紙にまとめ、その話題を中心にしながら田んぼのお兄さんのお話がスタートします。

そして実際に田んぼへ出かけました。収穫後の田んぼでじっくり観察。さらに稲から米を取り出してみたり、田んぼの生き物をつかまえてみたり。そして田んぼの土の柔らかさなどを実際に足で踏み込んで確かめ、聞いた話を体感していきます。子ども達の身近に存在していて、いつも何となく興味を持っていた田んぼ。子ども達は田んぼに入って楽しく学ぶ、貴重な体験をしました。

第2回ゆふいん子どもガイド養成講座／9月23日



田んぼのお兄さんに詳しく教わりました。



- ① カエルを実際に手に取って眺めます。
- ② 収穫したばかりの稲の束を持ち上げてみます。これでごはん何杯分かを考えてみます。2束で約一杯分だと教わり、家族分の稲を持ち上げてみます。
- ③ 初めて見るタイコウチをのぞき込みます。
- ④ タイコウチの見た目は「サソリみた〜い」というコメント。しっぽで呼吸していると聞き、ビックリしていました。
- ⑤ 田んぼを育てる農家の人、田んぼにいる生物などの命があるおかげで、おいしいお米ができあがる。それらすべてに感謝して「いただきます」という言葉の意味を最後に教わりました。

みんなで学んだ田んぼのコトをまとめました。



第3回目の講座はこれまでのまとめ作業と発表会の準備作業です。基本的には机の上でひたすら考え、ガイドを行うための発表材料としてまとめる作業です。主には、小学校低学年が集まるこの講座。2時間弱の間、机に座って集中して作業をするのは大変です。まとめる企画書の内容は自分で選び、みんなで一緒に考えた内容なので、責任を持って作業を行いました。

何より、自分が興味を持ち、楽しく学び、まとめた内容なので、発表の練習もとっても元気です。子どもの自発的な成果とゆふいんならではの経験がこの講座の特徴です。

第3回ゆふいん子どもガイド養成講座／10月17日



- ① 今回は発表のための企画づくり。ひたすら机の上で考えながら作業です。
- ② 田んぼについて、1人が紹介したいコトに対して、みんなで内容を出し合い、応用紙にまとめていきます。
- ③ 昼食で食べたアイガモ米(NPO風の原っば)。玄米と白米のおにぎりを食べて、その感想を話し合います。
- ④ 「由布院生きもの図鑑(発行/由布院温泉観光協会)」や図書館で借りた資料で、詳しく調べて企画書を充実させていきます。
- ⑤ 由布山をバックに、田んぼの真ん中で発表の練習をしました。11月13日には子どもガイド発表会を開催しました。

子供も大人も 住民も旅人も つくる人もそうでない人も
毎日たくさんの人がやってくる 「由布院駅アートホール」
みなさんに支えられて20年が経ちました
1部では湯布院町の子供たちと
2部ではこれまでに関わりのあったアーティストたちと
3部ではこれからもまだまだ表現の花を咲かせる高齢者たちと
ゆふいんを舞台にアートの物語を紡ぎます



1部 「夢の繭」 — 美術作家・平川渚プロデュース — 11.16 (火) ~ 12.6 (月)

湯布院の子どもたちを中心に、数ヶ月をかけて「ドリームネット」づくりを行いました。ドリームネットとは、竹の輪に毛糸やビーズなどを編み込んで作る、夢をつかまえるための装置です。夏祭り会場や町内各所、湯布院町にある4つの小学校を訪問してワークショップを行い、約290個のドリームネットが集まりました。そしてそれらを全て繋ぎあわせ、竹工芸家・大橋重臣氏の協力のもと、全長8mほどの大きな立体作品「夢の繭」を作ります。子どもたちが、夢やねがいを編み込んで作ったドリームネットがひとつの大きなかたちとなり、由布院駅アートホールの空間に出現します。



2010.8.28 塚原小学校 ワークショップ

また駅の待合室でもある会場内には、誰でも参加できる、大きなドリームネットも用意しています。様々な場所から訪れた、たくさんの人々の手加わって、このドリームネットは会期中どんどん様相が変化していきます。

ぜひ会場を訪れて、あなたの夢も編み込んでください。たくさんの子供も達と駅を訪れた人々がアーティストになる展覧会です。
会場：由布院駅アートホール

2部 「駅からつながるアートの散歩道」 12.7 (火) ~ 1.13 (木)



「朝の由布岳」高見剛 撮影

会場：由布院駅アートホール
町内各所 (裏面参照)

◎交流会 12.11(土) 19:00~ (参加無料)

由布院駅アートホールは、全国からの公募により年間10企画前後の展覧会が開催されています。今年で20年。計200企画以上開催された事になります。数えきれないほどの作家や人が関わって来ました。そこでは多くの素晴らしい作品を通して会話があり、笑い声があり、出会いがありました。その出会いはこの湯布院という環境に後押しされながら育まれています。

2部では、今でも繋がりのある作家たちによる展覧会を町内のおおよそ30ヶ所にて開催します。人と人が繋がった縁(えに)を散歩しながら鑑賞して下さい。アートと共に湯布院の良さを再発見出来る事と思います。
まずは由布院駅アートホールから地図を片手に出発！
由布院駅アートホールでは、写真家・高見剛氏による「湯布院曼陀羅華」を展示します。

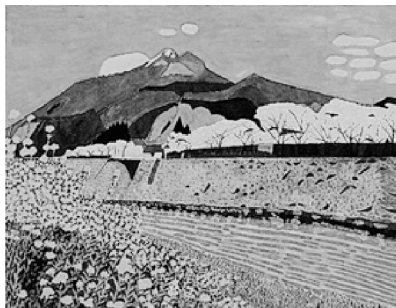
3部 東勝吉賞水彩画公募展 「陽はまた昇る ~83歳からの出発~」

1.14 (金) ~ 2.3 (木)

東勝吉翁をしのいで、「83歳以上」の高齢者に限定した水彩画公募展!!!

東さんは、湯布院町内の老人ホーム『温水園』に入所中、83歳で初めて絵筆を握り、独学で100点以上もの作品を残して99歳で亡くなりました。彼は無名ですが、制作に対するひたむきな情熱と素朴で純粋な画風に、由布院アートストック一同は感動し「83歳からでも人生は輝く」と励まされたのです。新たな感動に出会うべく『陽はまた昇る』と銘打ち、この公募展を企画しました。地元由布院にとどまらず、全国に呼びかけて集まった全ての作品を展示いたします。

すべての人にとって、次への出発のきっかけとなれば幸いです。



「由布院の春」東勝吉

会場：由布院駅アートホール/湯布院 受け月2Fギャラリー

◎交流会 1.14(金) 19:00~ (参加無料)

*NPO法人由布院アートストック...「由布院に関わりの合ったアーティストの品を由布院盆地より流出させず、将来の由布院盆地美術館(仮称)創設を視野に、盆地内にストックしよう」という目的で設立されたNPO法人です。

●主催：ゆふいん三世代物語実行委員会
●共催：九州旅客鉄道株式会社大分支社・由布市・一般社団法人由布院温泉観光協会・由布院温泉旅館組合・ゆふいんアート委員会・NPO法人由布院アートストック
●後援：由布市教育委員会・公益法人人材育成ゆふいん財団
●お問い合わせ：由布院駅アートホール*大分県由布市湯布院町川北8-2 ●TEL・FAX：0977-84-4678

ゆふいん三世代物語

2010.11.16~2011.2.3

由布院駅アートホール
9:00~19:00(最終日は16:00まで)
町内各所にて

ゆふいん
元気!

広島東洋カープ 少年野球教室 in YUFU
「未来に! 夢を!」湯布院・広島カープ支援交流事業団



11月14日(日)湯布院町総合グラウンドで「広島カープ少年野球教室 in YUFU」が開催されました。広島東洋カープとの交流は35年も続いています。子ども達の目がとても輝いていました。子ども達の未来、夢のために、真剣に指導して下さったカープの選手、会場の運営を支えた事業団の方々、どうもありがとうございました。

ゆふいん元気! 市民実践活動への助成・顕彰事業を再開しました!

- 平成22年度からの公益財団法人としての事業再開を目指し、これまで準備を整えてまいりました。
- 今年度の申し込みにつきましては、先月末日で公募を締め切ってしまい、大変ご迷惑をおかけしました。
- これまで取り組んできた人材育成に寄与する取り組みへの助成「人づくり部門」に加え、文化活動を未来に残そうとする取り組みへの助成「文化活動部門」を新たに拡充しました。
- 来年度は、4月より公募を開始していく予定です。よろしくお願い致します。(なお、財団ホームページにて今年度の要項を公開しています)

カチッ! 🔍 検索 ゆふいん財団

INFORMATION

人材育成ゆふいん財団 掲示板

(1) 一般寄附金としてご寄付をいただきました。

・加藤直満さま (岳本) より (香典返しとして) 50,000円

50,000円

温かいご厚意ありがとうございました。公益目的事業1の推進、充実に有意義に活用させていただきます。

・山田三江子さま (乙丸) より (香典返しとして) 30,000円

30,000円

温かいご厚意ありがとうございました。公益目的事業1、2の推進、充実に有意義に活用させていただきます。

・山口幸子さま (旧姓・衛藤/川西) より (香典返しとして) 50,000円

50,000円

温かいご厚意ありがとうございました。公益目的事業1、2の推進、充実に有意義に活用させていただきます。

公益目的事業1

市民の0歳から100歳までの学びを奨励、援助する事業

公益目的事業2

市民の実践活動の促進を援助する事業

(2) ゆふいん財団賛助会「木綿の会」会費納入のご案内の送付を開始しました。

賛助会制度・木綿の会とは

- 賛助会制度・木綿の会は、公益財団法人人材育成ゆふいん財団が行う事業への理解を深めていくと共に、事業活動へのより一層の参加、関心、また物心両面での支援を働きかけ、促していくことを目的としています。
- これまでの活動の中から生まれた財団に対する応援団であり、今後も財団事業への参画や支援をしていただくサポーターズクラブといえます。

- ・公益法人改革による公益認定の準備期間に伴い、平成21年度の会費納入につきましては、平成22年度会費と一括した処理を行うことになり、会員の皆様方にも告知が遅れ、ご迷惑をおかけしたことを深くお詫びいたします。
- ・新たに会員の皆様方にも税制優遇措置を付加することが可能となり、ようやく準備が整いましたことをご報告申し上げます。
- ・今年度から新たな会費制度として賛助会を再出発させて、来年度以降の事業運営の貴重なご厚意として受け取り、人材育成の事業の推進のために尽力していきます。

編集後記

財団ニュースの11月号の発行日は「11・22=イイ・フウフ=いい夫婦」の日発行です。毎号の発行日を、月数と日数のぞろ目としていますが、11月号は「仲の良い夫婦」ということで財団からのチョットした意識啓発です。ゆふいんは紅葉がきれい秋真っ盛りです。文化の秋、芸術の秋、食欲の秋・・・ぜひ、夫婦でお出かけを! (事務局・大澤直彦)

みらいしんきんは人材育成ゆふいん財団の市民の実践活動への情報・ネットワーク事業を応援します



みらい信用金庫

URL <http://www.oitamirai.co.jp/>